

国土交通経済（平成14年9月・10月分）の概況

【公共工事受注（10月）】

～総じて低調に推移。

← 工事受注額は前年同月比 11.4%減少（3ヶ月連続、4-10月累計は前年同期比 7.6%減少）。
大手 50 社受注額は同 7.2%増加（3ヶ月ぶり、4-10月累計は同 9.0%減少）。

【住宅建設（10月）】

～緩やかに減少。

← 新設住宅着工戸数は、総計 103,567 戸で前年同月比 1.8%増加（4ヶ月ぶり、4-10月累計は前年同期比 1.7%減少）。
季節調整済み年率換算値の推移をみると、14年4-6月期1,180千戸、7-9月期1,130千戸となり、このところ緩やかに減少している。

【民間非住宅建設（10月）】

～基調としては減少している。

← 民間設備投資の先行指標である民間非居住用建築物着工床面積は、事務所・工場・倉庫は減少したものの店舗が増加し、全体で前年同月比 2.3%増加（5ヶ月ぶり、4-10月累計は前年同期比 3.8%減少）。

【貨物交通（9月・10月）】

（1）国内輸送

～鉄道は減少。トラック及び航空も基調としては減少。

← トラック（特積）は、9月前年同月比 0.0%増加（21ヶ月ぶり）、トラック（一般）は、9月同 2.7%減少（20ヶ月連続）となった。一方、宅配は、9月同 0.2%増加（9ヶ月連続）となった。
鉄道は、10月同 2.6%減少（15ヶ月連続）となった。航空（速報：3社）は、前年9月に発生した米国同時多発テロによる影響の反動増により、10月同 10.1%増加（2ヶ月連続）となった（前々年同月比 11.5%減少）。

（2）国際輸送

～航空は、輸出入ともに大幅に増加。

← 外国航空会社を含む航空貨物量（速報：成田・関空調べ）は、輸出が10月前年同月比 52.7%増加（7ヶ月連続）となり、輸入も10月同 24.4%増加（4ヶ月連続）となった。我が国航空会社の輸送量（速報5社：輸出＋輸入）は、10月同 20.4%増加（8ヶ月連続）となった。

【旅客交通（9月・10月）】

～鉄道はほぼ横直し。国際航空は基調としては減少。国内航空は増加幅を拡大。

← 鉄道は、JR6社が9月前年同月比 0.4%増加（2ヶ月連続）、民鉄は、9月同 0.9%減少（6ヶ月連続）となった。国際航空（邦社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、10月同 42.1%増加（2ヶ月連続）となった（前々年同月比 6.8%減少）。国内航空（速報：9社）は、10月同 7.1%増加（3ヶ月連続）となった。

【観光（10月）】

～国内旅行取扱額は低調に推移。海外旅行取扱額も基調としては減少。

← 国内旅行取扱額（主要50社）は、10月同 0.2%減少（8ヶ月連続）となった。
海外旅行取扱額（主要50社）は、米国同時多発テロによる影響の反動増により、10月前年同月比 77.9%増加（2ヶ月連続）となった（前々年同月比 6.3%減少）。
なお、入国外客数は、10月同 16.6%増加（9ヶ月連続）となった。